

まめどきサポーターズの活動報告

まめどきサポーターズとは？

PTAとの違いを教えてください。

「まめどきサポーターズ」は、「大豆戸小学校地域学校協働本部」が運営している学校支援ボランティア活動です。この活動は横浜市からの委託事業で、市から予算が出ています。

「地域学校協働本部」は、横浜市の教育がめざす人づくりを実現するための組織のひとつで、市内の各学校に設置が進められています。地域の方々や学校との協働活動を推進することで、子どもの成長を支えることを目的としています。運営の仕方や活動内容は各校さまざまです。大豆戸小学校では児童保護者を地域の人と捉え、運営も含めて在校生保護者が中心となって活動しており、一部の活動では卒業生保護者の方々にもお手伝いいただいています。



主な活動内容を教えてください。

● 学校行事支援

新1年生給食お手伝い、体力テストお手伝い、水泳授業見守り、なかよし遠足見守り、書き初めお手伝い、その他学校からの依頼に応じて随時

● おはなし隊

水曜日朝、予定は学校だよりに掲載されます

● 花いっぱい活動

職員玄関前プランターや校庭花壇の整備、年3回程度

● 図書関連作業

図書室前廊下飾り付け作製、本の補修作業など、年4回程度



各活動がどのように行われたかを記事にまとめ、まめサポ通信として配信しています。



活動に参加したい場合、どうすればよいですか？

「おはなし隊」にご興味がある方は、普段のおはなし会に見学にお越しいただき、おはなし隊メンバーにお声がけいただくか、mameyomiki@gmail.com へてに「保護者氏名」「お子さま氏名・学年クラス」をご連絡ください。

「学校行事支援」「花いっぱい活動」「図書関連作業」については、活動を行う都度、ミマモルメを使ったメール配信やお子さまを通じたお便り配布にて、すべての保護者の方に御案内しています。

新しく まめサポの腕章を作りました。

腕章を着けて活動中のメンバーを見かけましたら、ご質問などお気軽にお声がけください。



編集後記

今年度は、9月に初めてWeb版広報誌を配信することができました。本号を含め、今年度の広報誌作成にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました!! PTA活動内容をより詳しく皆さまにご理解いただけたら幸いです。



〈2024年1月発行〉

発行：横浜市立大豆戸小学校 PTA
PTA会長：實田 通信
編集：PTA 広報委員会

今年度のPTA活動についてご報告します!

PTAは子どもたちが学校で安全安心に過ごせるよう、教員・保護者が協力し合いながら、地域とも連携して様々な活動をしています。世間ではアフターコロナと言われている通り、新型コロナウイルスによる制限がなくなりつつありますが、以前とはまた違った状況です。更に本校は共働きの保護者の比率が高く、アンケートでもPTA活動に参加することを負担に感じるという意見が見受けられました。このため、今年度のPTAでは「PTA活動における各委員、教職員の負担減および作業の効率化」を念頭に、一つ一つでは「小さな変更」だけでなく、皆が「楽になったよね」と実感できるように活動を積み重ねました。働きながらも、無理なくできるPTA活動をめざしました。

前年度からの変更点・負担軽減の取り組み

1 会合の削減およびメール体制の変更

役員会・運営委員会は昨年度まで月に一度、対面実施しておりましたが、今年度はこれまでの6割程度に減らし、それに伴い紙面(Web)開催を増やし、情報の共有は各自のタイミングでできるよう、PTA本部と各運営委員会とで相互に連絡できるメール体制を整えました。結果、日々の活動でも連絡がスムーズ、かつ活発になりました。文書のやり取りが多いため、メールという方法が現状一番良いようです。

2 副校長先生へ一極集中の連絡体制の変更

PTA本部や各運営委員会との窓口がすべて副校長先生へ集中しており、ただでさえ忙しい副校長先生の大きな負担となっていたため、各委員会からまずは各委員会担当の教職員の先生方へ連絡し、先生方から必要に応じて副校長先生へ連絡いただくという体制に変更しました。ミマモルメ配信も、副校長先生とPTA会長の承認が必要でしたが、PTAから発信するものは会長のみの承認へと変更しております。

3 運動会における役割負担軽減と活動内容詳細のマニュアル化

運動会における役割負担軽減を行い、子どもの応援がもっとできるようにいたしました。当日は本部役員9名+約30名のPTAのみなさんで活動しました。皆さまご協力ありがとうございました!

- ✓ 正門・裏門での来場者対応 → プログラム中は本部役員 + 外注スタッフで対応
- ✓ 徒競走のレース番号掲示 → 外注スタッフで対応
- ✓ 校門前の警備 → 外部警備を昨年の2倍の4名に増員
- ✓ 運動会の記念品(まめちゃんグッズ)の選定・注文 → 今年度はなしとし、グッズ予算を外注スタッフ代に
- ✓ 運動会での活動内容が分からなくて不安 → 活動詳細をマニュアル化し、不安解消

今年度のPTA委員の皆さまには、来賓テントでのシャッターチャンスの特典が贈られました!



1年間PTA役員をやってみて、いかがでしたか?

会長

学校内活動における実務の多くは副会長以下役員、各委員会の皆さんのお力で支えられていることを実感しました。会長としては、来年度以降も携わっていただける皆さんのご負担をなるべく減らし、無理なく参加できるPTA活動にしていけるように努力してきました。また立場上、他校や地域の情報も入り、子どもたちの育つ環境を俯瞰して見られる点は非常に良かったと思います。



副会長

何も変更しなければ楽ですが、少しでも変えようと思うと仕事でも一緒ですが、やはり大変です。でも、足りないところを皆で補い合い、助け合って活動していると、とても楽しいです。

書記

昨年度に対し書記担当の業務改善を行いました。効率化を図り、負担が昨年より減ったと感じています。PTAは児童や保護者のために、かゆいところに手が届くような動きをされていたことを自身がPTAをしたことで実感でき、必要な存在ではあるが、保護者の負担も減らしたいという考えが大きく表れた1年だったと思います。

会計

会計は2人体制でお互いの得意分野を活かして、「こまめに伝票管理もする担当」「期間集中で文書起こしやデジタル面でのサポート担当」をしているのでお互いを助け合いながらできています。



会計監査

会計監査は2人体制で年に2回の監査を行います。業務としては収支報告書と出納帳の整合性の確認と本部出納帳の伝票照合を行い、正確な記帳が行われていることを確認しています。また、会計の方から出納帳の内容についてヒアリングを行い、皆さまから集められたPTA会費が適正に運用されているかどうかチェックしています。

常置委員会の今年度の活動内容と取り組みについてご報告します！

学年学級・保健委員会

例年の活動に加え、テトラパックの回収終了、校外のベルマーク回収箇所削減、カーテン洗濯業者との交渉等を行いました。

また、今年度はコロナ禍以来久しぶりに給食試食会を開催しました。参加者募集を Web 上で行う等、負担軽減に繋がったと思います。給食白衣修繕では、年に 2 回ミマモルメで保護者の皆さまにご協力をお願いしたことで、委員の作業量を減らすことができました。ご協力ありがとうございました。

委員の皆さんからは「他の学年の保護者の方と繋がりができた」「ベルマーク預金残高が目に見えて増えるのでやりがいがある」「給食が食べられたのが良かった」という声もありました。一年を通して子どもたちの学校生活を知ることができ、良い経験になりました。



校外指導委員会

今年度の活動内容

- 長期休み明けの集団登校の見守りと旗振り(登校班名簿作成・更新)
- スクールゾーン(標識や歩道、白線の確認、対策協議会参加)
- 子ども 110 番の家(管理、更新、新規設置のお願い、ネットワーク会議参加)
- 交通安全教室の補助

前年度からの変更点、負担軽減の取り組み

今年度から委員間のやり取りを LINE ワークスに一本化し、無駄なやり取りが無くなり情報共有がスムーズになったと思います。

他の委員会より早く 3 月からの活動でしたが、登校班名簿の作成、長期休み明けの集団登校が終わると年間を通しての活動は他の委員会よりも少ないかと思われました。集団登校の際は校外委員だけでなく、学校、各地域の保護者の方の見守りがあって活動ができました。地域でのご協力ありがとうございました。



各委員会の活動についてもっと詳しく知りたい方は、大豆戸小ホームページより PTA 紹介号をご確認ください。



推薦委員会

前年度からの変更点として、会長への立候補者がいなかった場合、副会長 4 名体制とするよう運営委員会で合意を得て役員選出の募集要項を見直しました。また、推薦活動のスケジュール、選出作業の方針や状況をミマモルメにて配信し、会員の皆さまに活動内容を具体的にお知らせするようにしました。

負担軽減への取り組みとして、アンケートの他に今年度確実にお引き受けいただける方を募集し、候補者と推薦委員の間のやり取りを削減するよう取り組んでいます。

下半期に活動が集中しているため、まだ年間の総括に至りませんが、選出の状況により大変さが変わると実感しています。



交流委員会

今年度はさまざまな制約が緩和されたこともあり、コロナ禍以前のように PTA 会員の皆さまの交流ができる活動を中心に、崎陽軒横浜工場の親子見学や大綱中学校吹奏楽部の定期演奏会への招待企画など計 3 回のイベントを開催しました。活動にご協力をいただきありがとうございました。

委員間の連絡は LINE、実作業が発生するときを除くすべての定例会を Zoom で行うなど、日々の業務の負担軽減を図り、運営委員会への出席も委員が持ち回りで出席する仕組みにするなど、業務負担が偏らないように努めました。

イベントの企画運営をするということで大きな負担があるように見えますが、実際はかなり省力化したうえで、行事を自分たちで選定し、参加もできることから、楽しく委員を務めることができました。



広報委員会

6 月に教職員紹介号発行。5 月の定例会後、今後の方針(負担軽減やデジタル化)に伴い、PTA 活動に特化する内容に変更。9 月の PTA 紹介号は Web 配信にすることで、PTA 活動をいつでもチェックでき、より詳しくご理解いただけるような内容を掲載しました。

担当する号は希望を出して調整し、集中して活動するのは担当号発行前の 3 ヶ月程度でした。PC がなくてもスマートフォンで作業することもできるので、自宅で作業することが多いです。掲載内容と大まかなデザインを決定し、細部はデザイン会社をお願いしていますので、活動時間の削減にもなりました。月 1 回の定例会も、可能な限り書面で情報共有することで、集合回数をかなり減らすことができました。

